



グルーミングレースドッグ『パピー』107S
コンチネンタルバージョンを作りたいと思います。



作業前は毛量が多めの為最終仕上げでトップラインをゴージャスにするためまず最初にスイッチ（つけ毛）を10本作ります。一束ずつ植えてある腹部や前肢の間の毛などを、根元からペンチを使って100本ほど抜きます。

（注）腹部はU字で左右対称に、前肢の間などは大きな穴が開かないようにまばらに抜きます。



次に10本を一束にして根元を糸で結びます。



糸で結んだ根元をしっかりとって、毛先からピンブラシをかけます。



糸より下の部分を鋏で切り取り、クリアーのマニキュアを糸の周囲につけて固めます。これで1本完成です。



あまりにもオーバーコートなので糸より下の部分を鋏で切り取り、ブラッシング時間短縮のためにブラッシングの前にざっとカットします。



前胸のカット



足底より長い毛をカット



ロゼット周辺をカット



メインコート側面をカット



アンダーラインをカット



続いてブラッシングです。
毛先から根元に向かって丁寧にスリッカーでブラッシングを行います。



トップコートはピンブラシでブラッシングします。

ブラッシング終了時



カットに入ります。



まず後肢フットラインをテーブルに平行にカットしてからその周辺を切り上げてリアーブレスレットの下3分の1までを作ります。



前肢も同様にフロントブレスレットの下3分の1までを作ります。



右サイドのブレスレットがほぼ完成です。最終的な仕上げの時点でもう少し小さくできる余裕を残してあります。



4つのブレスレットがほぼ完成しました。



ロゼットに入る前にネックから前胸にかけての unnecessary 毛をカットします。



全体のバランスを考慮したロゼットの位置や大きさを決めるためにおおまかにカットした前胸です。



まず左右のロゼットのセンターを決めます。



次にコームで右側のロゼットの毛を真後ろにとかし、半分から後ろの半円をカットします。



続いてロゼットの毛を前にとかし半分から前の半円をカットします。同様に下にとかして半分から下と上にとかして半分から上をカットし、側望して真円になるように作ります。

後望した時の右側のロゼット



上望した時の右側のロゼット作業順序は基本的にドッグショー出陳の際のジャッジ側と反対の右側から作ります。



左右のロゼットの完成です。





メインコートのカットに入ります。まずパーティング
ラインを床に垂直にカットします。
ただし背線より上の被毛は切りません。



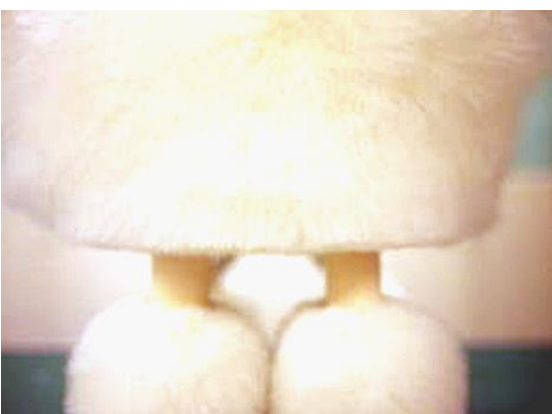
次にコームダウンしてアンダーラインを作ります。

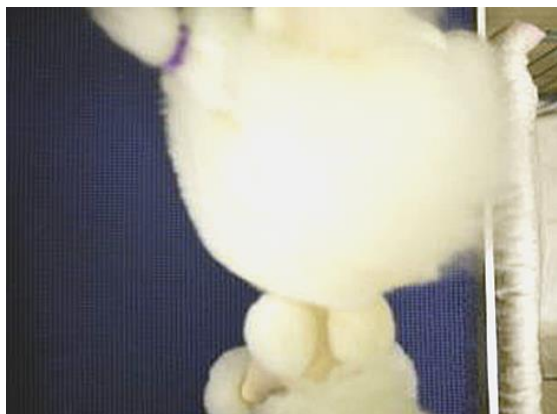


側望からの左右のラインが出来たら前望します。



下胸のラインを真直ぐに繋げます。





サイドラインを形付けを行います。ボディ左側を上望すると写真のようにアンダーラインのシェイプとほぼ同じラインに作ります。



後望するとボディサイドは背線より下に垂直なラインとなります。



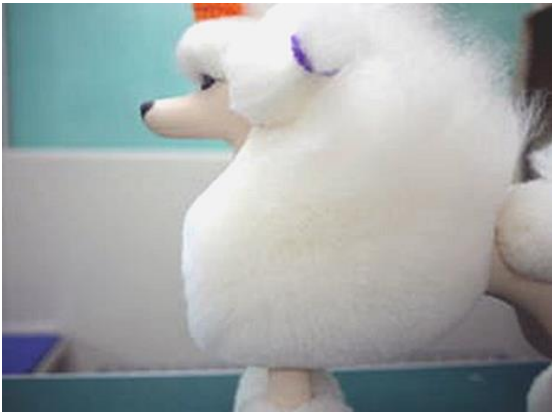
側望はこのような形になります。



アンダーラインとサイドラインとの角を左右カットします。



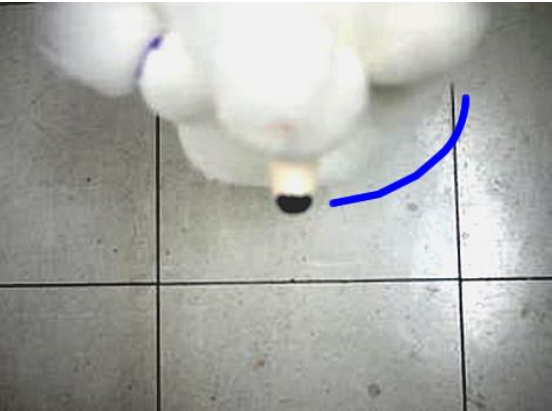
<側望>



前胸は、ネックラインを少しえぐるようにカットし、
トップ部分はメインコートのバランスを考慮して垂直
に切りなおします。



上望すると左右にまだ前胸の角が残っています。



右の角をカットしました。



ここまでの作業工程の側望です。



最後に下胸からのラインを切り上げます。

ロゼット、フロント及びリアーブレスレットのサイズ調整をしました。



毛の根元に大小8本ほどのスイッチを入れました。



テールのポンポンも丸くカットします。



スプレーを使ってセットアップです。

Before



After



.

3

